

このトートバッグは、水戸藩の学校「弘道館」の創設理念を記した「弘道館記」を元にデザインしました。



弘道館とは？

天保 12 年(1841 年)、水戸藩第9代藩主徳川齊昭^{とくがわりあき}によって開館された藩の学校(藩校)です。儒学や武道のほか、音楽や西洋医学、薬学、天文学など幅広い学問を学べる総合大学のような存在でした。広さはおよそ3万2千坪(10.5ヘクタール)で、国内最大の藩校でした。

弘道館記とは？

弘道館の建学の精神を記したものです。天保8年(1837 年)に、水戸藩の学者藤田東湖^{ふじたとうこ}によって草案が作られ、天保9年に齊昭の名で公表されました。弘道館記は天下の名文として全国に広まり、幕末維新期の思想に大きな影響を及ぼしました。

弘道館記碑とは？

寒水石(結晶質石灰岩)に齊昭自筆の弘道館記を刻んだ石碑で、藩校の中心に位置する八卦堂^{はっけどう}に納められました。昭和 20 年(1945 年)の空襲で八卦堂は全焼しましたが、石碑は傷つきながらも焼け残りました。平成 23 年(2011 年)の東日本大震災で再び被災し、その後修復されました。

バッグの梅のマークについて…弘道館記碑に刻まれた文字の残存率を表現しています。

 : 現存しています(90%以上)  : 現存しています(90%未満)  : 失われています

日本遺産「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」とは？

高い教育水準を誇っていた江戸時代の教育を象徴する遺産をつなぐストーリーです。水戸市の弘道館、偕楽園・大日本史・旧水戸彰考館跡・日新塾、栃木県足利市の足利学校、岡山県備前市の閑谷学校、大分県日田市の咸宜園・豆田町など 19 の教育遺産をまとめて、平成 27 年(2015 年)に日本遺産第1号に認定されました。



 近世日本の教育遺産群



弘道館記碑

高さ 3.3m、幅 1.9m、厚さ 0.6m。1953 年に復元された八卦堂内に納められています



弘道館記碑拓本

弘道館事務所提供